

2021年10月のてがたんも少人数・申し込み制にて実施しました。ご参加いただいたみなさま、ありがとうございました。観察記録のレポートを作成いたしましたので、ご覧ください。

次回11月のてがたんは11月13日(土)で、テーマは「鳥と樹木の『持ちつもたれつ』」です。ぜひご参加ください。11月1日から電話での申し込みを開始いたします。市民スタッフのみなさま、次回の下見は11月7日(日)です。

## 10月の観察コースと内容

- コース：鳥の博物館→ハス田→旧水生植物園
- 観察日時と天気：2021年10月9日(土) 10:00~11:00 晴れ
- 参加人数：12名(大人8名、小学生以下4名)
- 市民スタッフ：5名(木村 稔、伊東茂子、石原直子、小泉伸夫、伴野茂樹)
- 鳥博職員：1名(小田谷嘉弥)

## 観察した生き物の記録

[\*]は、下見だけで見られたもの。

### 【鳥類】

キジ科：キジノカモ科：カルガモ、コガモ\*ノカイツブリ科：カイツブリ\*ノハト科：キジバトノウ科：カワウノサギ科：アオサギ、ダイサギ\*、チュウサギ、コサギ、ゴイサギノクイナ科：ヒクイナ(声)\*ノカウコウ科：ツツドリノミサゴ科：ミサゴ\*ノタカ科：トビ、サシバ\*、オオタカ\*ノカワセミ科：カワセミ(声)ノモズ科：モズノカラス科：ハシブトガラス、ハシボソガラスノシジュウカラ科：シジュウカラノヒヨドリ科：ヒヨドリノメジロ科：メジロ(声)ノムクドリ科：ムクドリノスズメ科：スズメノセキレイ科：ハクセキレイ、セグロセキレイ\*ノアトリ科：カワラヒワノホオジロ科：ホオジロ  
家禽や外来種：コブハクチョウ(カモ科)、ドバト(ハト科)

### 【両生爬虫類】

ニホンアマガエル、ヌマガエル、ウシガエル、ヒガシニホントカゲ\*、クサガメ、ミシシッピアカミミガメ

### 【昆虫】

トンボ目：アキアカネ、ナツアカネ\*、ノシメトンボ、コノシメトンボ\*、シオカラトンボ、ウスバキトンボ、アジアイトトンボ、アオモンイトトンボ\*ノチョウ目：モンシロチョウ、モンキチョウ、キタキチョウ、アカタテハ、キタテハ、アカボシゴマダラ、ツマグロヒョウモン、ベニシジミ、ルリシジミ、ヤマトシジミ、ウラナミシジミ、ウラギンシジミ、キアゲハ、ナガサキアゲハ、ナミアゲハ、アオスジアゲハ、イチモンジセセリ、アオイラガ(幼虫)、ナシケンモン(幼虫)、ホシホウジャク(幼虫)ノコウチュウ目：マメハンミョウノカメムシ目：キマダラカメムシ、ヨコヅナサシガメ、アブラゼミ、ツクツクボウシノアリ目：ルリチュウレンジノバッタ目：コバネイナゴ、ショウリョウバッタ、オンブバッタ、ヒシバッタ、トノサマバッタ、クルマバッタモドキ、エンマコオロギ(声)、ツツレサセコオロギ(声)、モリオカメコオロギ(声)、ハラオカメコオロギ(声)、ミツカドコオロギ(声)、マダラスズ(声)、シバズ(声)、カネタタキ(声)、クサヒバリ(声)、アオマツムシ(声)ノハエ目：ハナアブの仲間、ヒラタアブの仲間

### 【クモ】

オニグモ、ジョロウグモ、コクサグモ、メガネアサヒハエトリ

### 【花】

花 キク科：セイヨウタンポポ、ノコンギク、オオジシバリ、ハキダメギク、コセンダングサ、アメリカセンダングサ、タカサブロウノアカバナ科：ヒレタゴボウ、アカバナユウゲショウノヒユ科：ホソアオゲイトウノツユクサ科：ツユクサ、イボクサノカタバミ科：カタバミノシソ科：ホトケノザ、ヒメジソノキツネノマゴ科：キツネノマゴノオモダカ科：オモダカノハエドクソウ科：トキワハゼノアゼナ科：ウリクサノタデ科：オオイヌタデ、イヌタデ、ボントクタデ、ヤブタデ、ミソソバノバラ科：ワレモコウノマメ科：シロツメクサノアブラナ科：スカシタゴボウ、イヌガラシノトウダイグサ科：エノキグサノミズアオイ科：コナギノナデシコ科：コハコベノオオバコ科：オオバコ  
実 タデ科：イシミカワノアカネ科：ヘクソカズラノクスノキ科：シロダモノアサ科：エノキ

# 10月の観察アルバム



今回のテーマは「赤とんぼを探そう！」でした。曇り空で少し風も強く、トンボ類の観察には向かない条件でしたが、稲刈りの終わった水田に産卵にやってきたアキアカネを観察することができました。また、鳥たちの秋らしい動きも観察できました。



今月の案内人  
小田谷嘉弥・木村 稔



①西に渡っていたヒヨドリの群れ



②高鳴きをしていたモズの雌



③ハス田で紫色の花をつけていたコナギ



④ハスの茎に止まっていたアキアカネ



歩いたルートと観察した生き物



⑤田んぼで連結産卵していたアキアカネ



⑥ハス田にいたアジアイトトンボ



⑦田んぼで餌を探していたチュウサギ



⑧水路に咲いていたミゾソバの花

## 今月の鳥 チュウサギ (ペリカン目サギ科)

チュウサギは日本では本州以南で繁殖し、冬はフィリピンなどの東南アジアに渡る夏鳥です。林などにコロニーで繁殖しますが、その採食環境は主に水田で、カエルやドジョウなどの小動物や、トンボやバッタなどの昆虫を捕えて食べます。手賀沼の近くにはコロニーがないために繁殖期にはあまり見られません。しかし、繁殖が終わって分散する9月ごろからは数が増え始め、刈り取り済みの稲田や岸辺のヨシ原沿いでよくみられるようになります。最近では、下沼の市民農園前や曙橋周辺でダイサギやアマサギとともに集団ねぐらを取っているのが観察されています。このような渡り前の集結は10月下旬ごろまで見ることができます。



水田でトウキョウダルマガエルを捕えて食べるチュウサギ